

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和6年 第2回定例会)

質 問 順 位	1 4 番 議 員 佐 々 木 教 雄	
質 問 事 項 1	自治体におけるコンプライアンスについて	
質 問 の 要 旨	昨年、賠償事案が三件発生した。基山町の規模からして多いと考える。背景にはコンプライアンスに対する意識の希薄さがあるのではないか。また、議会も十分にチェック機能が働いていたとは言い難い。 行政として当然教育、研修等行われているはずだが、多忙さでコンプライアンスの意識が低下しているのではと思い質問する。	
具体的な質問 及 び 質問の相手	(1) 法令順守遂行のため現在の教育研修を含めた状況とその必要性をどう捉えているか示せ	町 長
	(2) 今後危機管理意識向上に、どのような対策を講じるか具体的に示せ	町 長
	(3) ハラスメントに対する相談窓口の現状と、その受入れは十分に機能しているか	町 長
	(4) 過去3年間のコンプライアンスに関する相談件数を示せ。また、その対処は適切に行われたのか	町 長

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和6年 第2回定例会)

質問順位	1 4番議員 佐々木 教雄	
質問事項2	基山ふるさと名物市場について	
質問の要旨	基山ふるさと名物市場が開設され10年が経過し、まさにターニングポイントに来ていると考える。この10年間の売上高は1,200万円あまりの推移に対し、運営する産業振興協議会に対し、令和5年度は350万円の補助金を拠出している。誰の目から見ても赤字運営であることは明白である。町長はアンテナショップの位置付けであり、情報発信が役割であり、利益追求が目的ではないとしているが、それで町民が納得できるとは思えない。利益追求せよとは言わないが損益分岐点はクリアすべきと考え、今後の運営計画、運営方針について質問する。	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 基山ふるさと名物市場の位置付けを示せ	町長
	(2) 基山ふるさと名物市場の現状の課題と今後の方向性を示せ	町長
	(3) 基山ふるさと名物市場のあるべき姿と、最終着地目標を示せ	町長